

市民ワークショップの結果概要（新庁舎整備等について考える市民ワークショップ）

開催概要

【目的】

新庁舎整備等について考える市民ワークショップは、さいたま新都心の新たなまちづくりや新庁舎の市民利用機能等について、市民の皆様から様々なご意見をいただき、今後の検討の参考とすることを目的に開催。

【開催日程】

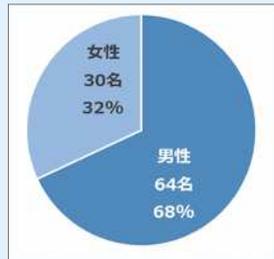
2日間ワークショップをA、B日程の計2回開催した。会場：（A日程）大宮区役所大会議室（B日程）新都心ビジネス交流プラザ

	A日程	B日程	内容
1日目	10/29	12/3	新都心の新たなまちづくりについて
2日目	11/19	12/17	新庁舎市民利用機能等について

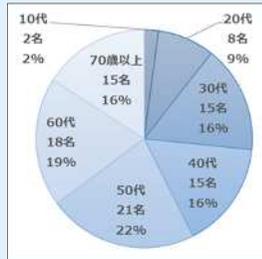
【当日参加者（実人数）：94名】

募集に当たっては、公募枠と無作為抽出枠を設け、広く参加者を募った。113名の方からの申込みがあり、当日は10代～70歳以上までの幅広い年代の94名（19名欠席）の市民の方が参加。

<男女別内訳>



<年代別内訳>



<居住区別内訳>



【検討経緯・市の方針等を説明】

各日程のグループディスカッションに先立ち、ワークショップの目的や進め方のほか、事務局から「さいたま新都心の経緯と動向」、「新庁舎整備等の検討経緯」、「新庁舎市民利用機能等」について説明。

説明の様子



【グループディスカッション】

各日程8班に分かれ、グループディスカッションを行い、各班で考えた内容を発表。

● 1日目

1日目は、さいたま新都心で過ごす具体的なキャラクターを班ごとに1つずつ設定し、「新都心のどのような場所でのように楽しく過ごしたいか」、「新都心にどんなもの・ことが欲しいか」などについて意見を出し合った。上記のディスカッション内容を踏まえ、設定したキャラクターが新都心周辺を1日または2日かけて移動する「ルート案」を作成し、各班で考えた内容を発表。

● 2日目

2日目は、第1回のディスカッションで考えた「さいたま新都心の楽しい時間の過ごし方」の検討結果を振り返りながら、「新庁舎にあるとよいものやサービスなど市民利用機能等について」意見を出し合った。前半で話し合った内容を踏まえ、「新庁舎整備のテーマ」や「具体的な市民利用機能」について各班の意見を取りまとめ、発表。

ディスカッションの様子



発表の様子



新庁舎整備のテーマ

新庁舎整備のテーマについて、班ごとに発表。発表された意見は以下のとおり。（一部抜粋）

誰もが週一行きたい、 グリーンな広々とした新庁舎	さいたまでしか出来ない 体験型庁舎	Smart City Hall（ふらっと立ち寄れる・ 未来の文化をつくる ）	最先端24時間 いつでも有効フル活用！
これからの50年に柔軟に対応した 市のシンボル 水辺のある、地元で働く場所	みんながあそべる 市役所	人・情報・文化と『 つながり 』を作る、行けば楽しい新庁舎	「 にぎわい 」（稼げる庁舎） 「 アピール 」（千客万来） 「 親しみやすさ 」（高いこころざし・低い腰の市民施設） 行政市民サービスのコストを打ち消す、民間エリアでプロフィット（利益）とベネフィット（市民恩恵）の実現！
① 市民に徹底的にやさしい 新庁舎 ② 市外からも訪れたい 新庁舎	彩たまり場 ドキドキワクワク が つながる 庁舎	全世代+全市民+来街者が気軽に歩いて 文化・情報発信・体験 が出来る新庁舎（話題性のある）	

市民利用機能等のアイデア

市民の皆様から発表された意見を、基本構想の基本理念に分類しました。（一部抜粋）※赤線は関連が特に強い内容を結びつ

【新庁舎整備の基本理念】

本市の都市づくりの一翼を担う庁舎

本市のシンボルとなる庁舎

DXなど今後の変化に柔軟に対応し、効果的、効率的に行政運営が行える庁舎

防災に配慮した環境にやさしい庁舎

すべての人が使いやすいユニバーサルデザインを実践する庁舎

多様な主体による協働や市民交流が行われる庁舎

セキュリティに配慮した庁舎

【市民の皆様からいただいたご意見】

市のシンボル・PRに関する機能

- ・オープンスペース、多目的広場
- ・360°展望台
- ・多様な用途に活用できる吹抜空間
- ・市全体の総合案内所、コンシェルジュ

防災に関する機能

- ・災害時の一時避難施設
- ・充電、シェルター、Wi-Fi
- ・災害時の給水施設

交通アクセスに関する機能

- ・シャトルバス運行
- ・駐車場、駐輪場、レンタル自転車
- ・ドローン発着場

人々の交流・つながりに関する機能

- ・コワーキングスペース
- ・子育て支援、交流施設
- ・バリアフリー（駅直結のデッキ）
- ・年齢・性別・国籍問わず交流できる機能

先端技術・近未来に関する機能

- ・最先端3D・VR（仮想現実）
- ・最新技術、天体観測
- ・デジタル相談窓口
- ・バーチャル市役所
- ・AIを使った観光案内

水と緑の機能

- ・屋上庭園、市民菜園
- ・体験学習（環境）
- ・親水広場、噴水

体験・遊びの機能

- ・展望レストラン、BBQ広場
- ・飲食店、イトインスペース、地元食材の活用、市民食堂
- ・マルシェ、物産展、農産物直売、ハンドメイドショップ・本屋カフェなどが楽しめる機能・にぎわいの場の創出
- ・スポーツ、アニメ、スーパーアリーナとコラボ

■新庁舎整備のテーマについては、「市のシンボル」、「グリーン」、「体験」、「遊び」、「つながり」、「最先端」、「にぎわい」など様々な内容の発表があった。また、市民利用機能のアイデアについては、市民の日常生活に直結した機能の充実に加えて、新庁舎整備を契機として市外から人を呼び込む仕掛けづくりに関するアイデアが多く寄せられた。いただいたご意見は、今後の計画策定に向けた検討の参考とする。（ワークショップ結果の詳細は、市ホームページに掲載予定）

また、開催後実施した参加者アンケートでは、95%の方が、今回のワークショップには「満足」、「どちらかといえば満足」と回答し、97%の方が、「また参加したい」、「どちらかといえばまた参加したい」と回答。

今後もワークショップを始め、様々な手法により、市民の皆様のご意見を伺いながら、新庁舎整備の検討を進めていく。